

競 技 者 注 意 事 項

1. 開催日および
開門時間 令和4年7月23日(土)
令和4年7月24日(日) 両日とも開門 7時30分予定
2. 規 則 2022年日本陸上競技連盟規則及び本大会の規則に準じて行う。
3. 変 更 競技者の変更は一切認めない。プログラム訂正は両日8:30までに行う。
4. 練 習 事故防止の観点から、安全に十分に留意して練習すること。
練習にあたっては、競技役員の指示に従うこと。
① 競技開始前の競技場での練習方法は、次のとおりとする。
 - ・1~2レーン ジョギング
 - ・3~4レーン 短距離走(バックストレートは3~5レーン)
 - ・5~8レーン ハードル(ホームストレート)
 - ・リレーは、第2及び第3コーナーの6~8レーンで行う。
 - ・フィールドはドリル練習や流しなど。② 競技場及び補助競技場での練習は、大会参加者に限る。
③ 競技場での練習は、両日とも最初の種目の競技開始20分前までとする。
④ フィールド競技の練習は、招集後より競技役員の指示に従い、行うことができる。
⑤ 補助競技場での練習は、両日とも8:00から行うことができる。
5. 招 集 招集は、従前の形式(1次コール後、現地で最終コール)に戻します。
招集所に集まる人数を減らすため(感染症対策として)、**競技開始の40分前から30分前の10分間を招集時間として設定しました。**招集時間が短いので気を付けること。
招集所は、100mスタート地点脇の倉庫内に設ける。
招集時間に遅れた競技者は棄権とみなし、競技には参加することはできない。
招集場所での受付は必ず本人が行い、種目・組・レーン・氏名等を確認する。
この際、アスリートビブス(ナンバーカード)、腰ナンバー(長距離種目のみ)、シューズ・スパイクの確認を行う。シューズのソールの厚さは800m未満20mm、800m以上25mm、フィールド種目(砲丸投を除く)20mmまでとし、スパイクピンはトラック9mm以下、走高跳・やり投げ12mm以下とする。また、**一般の部の長距離種目は、事前にアスリートビブス・腰ナンバーを本部へ取りに行くこと。**800mの決勝は腰ナンバーを招集時間に**競技者係**で受け取ること。
6. スタート トラック競技のスタート合図は、イングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。なお、中学四種では、2回目以降に不正スタートをした競技者が失格となる。
小学生のフライングについては同一競技者が2回行った場合に失格となる。
7. アスリートビブス 競技者は、各種目とも、胸上部・背上部にナンバーカードを付ける。(走高跳・走幅跳については胸もしくは背の一方のみでよい。) 一般の部および市民総合体育大会の部については、当日市陸協が本部で配布する。
高校生は令和4年度高体連登録番号のナンバーカードを各自用意すること。

小・中学生についても事前に確認されているナンバーカードを各自（学校、スクール毎）で用意する。

なお、長距離種目は腰ナンバー（白布 180mm×120 mm、文字は黒で高さ 100 mm）を各自で用意し、右腰に付ける。また、安全ピンも各自用意する。一般の部は本部で市陸協が配布する。なお、長距離種目決勝については、競技者係で配布する。

8. リレー

リレーオーダー用紙は、競技開始1時間30分前から1時間前までに競技者係へ提出する。**尚、2日目の中学生男女4×100 JrR 予選のオーダー用紙提出時間は7時40分～8時00分とするので、遅れないよう注意すること。**感染症対策として、招集所へは1名が着用するユニフォーム・ナンバーカードの確認を行うこと。また、選手は15分前までに、各スタート地点に集合し招集を受けること。

リレーのオーダーについては、本競技会プログラムに記載されている選手であれば、2名まではリレーにエントリーされていなくても出場できる。

9. 表彰

優勝者には選手権賞と賞状を授与する。

小、中学生で決勝3位までに入賞した競技者には、賞状が授与される。また、本大会において顕著な成績を収め、選考の上認められた選手に特別賞として最優秀選手賞「関水正文賞」を授与する。

10. その他（競技方法）

- ①当日の参加選手が少ない場合に、予選を決勝に変える、もしくは、組数を変更することがある。
- ②**小学生の走幅跳・ジャベリックボール投、中学生の走幅跳については、3回の試技で順位を決定**する。
- ③トラック種目の決勝進出者数は、8名、8チームとする。トラック種目で同記録の場合は、1000分の1まで読み取り決定する。それでも同記録の場合は着順優先とし、同着の場合は抽選を行う。

11. 注意事項

- ①競技者以外は競技場内に入らぬこと。応援は各待機場所及びスタンドから拍手のみとし声を出しての応援は行わない。競技者に対してフィールド内からの応援もできない。
- ②所持品は各団体で責任をもつこと。
- ③**ゴミ等は各自、必ず持ち帰ること。帰宅途中で「ゴミ置場」やその他の場所へ投棄・ポイ捨てなど絶対にしないこと。**
- ④中央ダッグアウトの本部前は選手の通行を禁止する。スタンド下通路が使えない場合は、通行を許可する。
- ⑤更衣室の利用は15名までとし、シャワーは使わない。
- ⑥競技中以外は必ずマスクを着用し感染予防に努める。